



## 台風や大雨の後に火災が発生するって？？ 通電火災にご注意を！



台風が接近すると、強風や豪雨によってさまざまな災害が発生しますが、その一方で火災が発生するリスクも無視できません。豪雨によって建物が浸水し、電気機器が濡れることで火災が発生する可能性があります。

また、台風時に停電が発生することはよくありますが、**停電後の再通電時**には特に注意が必要です。配線や電気機器が損傷している状態で電力が復旧すると、ショートや過負荷が発生し、これが火災の原因になることがあります。

これを『**通電火災**』と言います。

### 事故事例

- ・損傷した配線などに再通電し、発熱、発火する。
- ・転倒した電化製品に可燃物が、接触した状態で再通電し着火する。
- ・再通電時に発生した電氣的火花が、漏れ出たガスに引火、爆発する。
- ・浸水や雨漏りによる、電化製品の基盤等の損傷により、再通電時にショートが生じ着火する。
- ・コンセントに水分が付着し、再通電時にトラッキング※が生じ発火する。
- ・避難中の不在時や、初期消火に失敗し火災に至る。

※トラッキング火災については6月号をご覧ください。

### 通電火災を防ぐ方法

- ✓ 台風が接近する前に、家の周囲や屋内の電気機器の状態を確認し、異常がないかを点検する。
- ✓ 配線の損傷や劣化が見られる場合は、早めに修理や交換を行っておく。
- ✓ 屋外の電化製品は屋内へ退避させ、ブレーカーは落としておく。
- ✓ 台風時には窓やドアをしっかり閉め、雨風が室内に入らないようにする。
- ✓ 再通電時には、まず電気機器の電源を切り、慎重に通電を確認しながら復旧作業を行う。

### 万が一、煙などの発生や異臭を感じたら

建物や電化製品等には外見上の損傷がなくとも、壁内の配線の損傷や電化製品内部の故障により、再通電後、**長時間経過したのち**火災に至ることがあります。煙の発生や異臭など異常を発見した際は、直ちにブレーカーを落とし、電力会社と消防機関に連絡してください。

## 台風シーズン到来！

雨風が強まる前に、暗くなる前に、早め早めの対策を！

|                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| <p>窓ガラスの飛散防止</p>    | <p>ハザードマップの確認など</p>  |
| <p>水や食料、電池の備蓄など</p> | <p>車の燃料を満タンにするなど</p> |